

平成20年12月発行

北海道のいものすべて

編集・発行 北海道農政部食の安全推進局農産振興課（畑作グループ）

（問い合わせ先） 〒060-8588

札幌市中央区北3条西6丁目（本庁舎7階北側）

電話：011-231-4111（大代表）

FAX：011-232-4132

URL：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/nsk/index>

編集人 阿部尚人 高橋吉清 田中力 朝川樹

おわりに

北海道洞爺湖サミットのプレスセンターが設置された後志管内の留寿都（るすつ）村では、JAようていが、サミット開催の記念と国際イモ年のPRのため、地元農業者の協力の下、じゃがいもの見本ほ『ようていポテトサミット35』を設置しました。

ここでは、倶知安農業高校の生徒が「じゃがいもナビゲーター」となってじゃがいもの特徴などを観光客に案内したり、留寿都小学校の児童による植付け・収穫体験が行われるなど、春の植付けから秋の収穫まで多くの方々が楽しみました。

また、収穫されたじゃがいもを使った国際イモ年のPRのためのイベントが各地で行われ、多くの方が訪れました。



見本ほ「ようていポテトサミット35」での開花の様子（左）とPRイベント（写真は11月、Ario札幌でのもの）における国際イモ年PRの様子（右）

じゃがいもなどのいも類は栄養価が高く、安定的な収量が見込めることから、食料不足による飢餓や貧困といった問題の解決に重要な役割を果たしています。また、北海道では、農業や地域経済を支える作物でもあります。

2008年が「国際イモ年」であることなどから、北海道でもイベントが行われましたが、これをきっかけに、いもに関心を持っていただき、そしておいしい北海道のいもをもっと食べていただけたら幸いです。

北海道のいものすべて



北海道農政部食の安全推進局農産振興課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目（本庁舎7階北側）

電話：011-231-4111（大代表） F A X：011-232-4132

U R L： <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/nsk/index>